

窓

京都新聞 令和2年(2020年)3月18日(水)

地域学習 郷土愛育む好機

宇治市・山本 紗幸(大学生・19)

昨年9月18日付朝刊山城版で「和束中の茶10年ぶり2等」という記事を読みました。京都の和束中の生徒が世話や茶摘みを行った茶が、関西茶品評会の普通煎茶の部で、全196品中17位となり、10年ぶりに2等を受賞したのだそうです。このことを知り、私は素晴らしいと思いました。

この和束中には、地元農家から借りている茶畑があり、茶摘みの時期には、生徒や保護者、地域の人、交流がある関西大の学生など町外の人までもが集まって収穫するのだそうです。このように、地元の名産品を育て、地元の人をはじめとしたいろいろな人と触れ合

う機会がある学校は、存外少ないのではないのでしょうか。近年、都道府県のアンケート調査で、「郷土愛を感じる」と答える人が減っているそうです。各教育機関で、このような地元学習の機会をもつと創出していったら良いと思います。

※無断転載不可